

# YOKOSHIN NEWS

令和1年12月20日  
横浜信用金庫

## 《よこしん》景気動向調査結果について

—2019年10～12月期実績、2020年1～3月期予想—

横浜信用金庫(理事長 大前 茂)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

### 【業況判断DI】

#### (全業種総合)業況判断DIは悪化、来期は改善する見込み

- 今期(2019年10～12月期)の全業種総合業況判断DIは、前期比5.6ポイント低下の-1.0と悪化し、2016年4～6月期以来のマイナスとなった。来期は、今期比2.4ポイント上昇の1.4を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは、前期比2.4ポイント低下の1.6となった。来期は、今期比1.5ポイント上昇の3.1を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは、前期比7.4ポイント低下の-2.4となった。来期は、今期比3.0ポイント上昇の0.6を見込んでいる。

### 【特別調査】「2020年(令和2年)の経営見通し」

- 日本の景気見通し 「普通」(57.3%)、次いで「やや悪い」(25.5%)
- 自社の業況見通し 「普通」(63.4%)、次いで「やや悪い」(21.0%)
- 自社の売上額の伸び率 「変わらない」(54.6%)が最多回答
- 業況が上向く転換点の時期 「業況改善の見通しは立たない」(27.8%)、  
[特別項目]自社の消費税率引上げ前の見通しと比べて、受けた影響とその理由
  - ・ 受けた影響 「見通しと変わらない」(76.4%)
  - ・ その理由 「良い影響」(ポイント還元制度 1.6%)、「悪い影響」(売上の減少 8.7%)

#### <調査概要>

調査対象:当金庫取引先(法人・個人事業者)775先 有効回答数:763先  
調査方法:営業店職員による聞き取り調査 調査時期:令和1年12月上旬

※その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒景気動向調査」をご覧ください。

\*本件に関するお問い合わせ先\* 総合企画部: 汐見、石井 電話: 045-680-6912



横浜信用金庫